

**全国大学ビブリオバトル in
ながさきピース文化祭 2025
実施報告書**

全国大学ビブリオバトル運営事務局

目次

全国大学ビブリオバトルレギュレーション	1
ビブリオバトル公式ルール	1
1 開催概要.....	2
1-1 本戦 開催概要	2
1-2 ブロック決戦 開催概要.....	2
1-3 ブロック予選 開催概要.....	5
1-4 オンライン開催の要件	7
1-5 ブロック予選・ブロック決戦 開催団体一覧.....	8
2 ブロック予選・ブロック決戦 開催報告.....	15
2-1 ブロック予選開催報告	17
2-2 ブロック決戦開催報告	25
3 本戦 開催報告	30
3-1 セミファイナル.....	31
3-2 ファイナル.....	34
4 「全国大学ビブリオバトル in ながさきピース文化祭 2025」本戦レポート	35
5 その他.....	46
5-1 予選会主催団体アンケート	46
5-2 本戦出場者アンケート	46
5-3 ブロック予選・ブロック決戦主催団体 広報ウェブサイト	46
6 記録	47
6-1 ちらし・ポスター素材	47
6-2 メディア掲載.....	48
一般社団法人ビブリオバトル協会のご案内	49
ビブリオバトル普及委員会のご案内	50
関連書籍の紹介.....	51

全国大学ビブリオバトルレギュレーション

前文：

ブロック予選、ブロック決戦、本戦すべてのビブリオバトル開始前に、司会者がビブリオバトル公式ルールおよび以下の全国大学ビブリオバトルレギュレーション（1～10）を読み上げ、ビブリオバトルの趣旨を参加者に周知してください。

1. 本やエピソードを紹介するための小道具の使用は認める。
2. レジュメの配布は禁止とする。
3. 読み上げレジュメの持ち込みは禁止とする。ただし、本へのメモ書きや付箋の添付などは認める。
4. パワーポイントやキーノートなどの、プレゼンテーションツールの使用は禁止とする。
5. 発表の際、発表参加者は必ず 5 分間を使い切ること。
6. ディスカッションの時間では、発表内容の揚げ足を取ったり、批判的な問いかけをしてはならない。発表内容で分からなかった点の追加説明を求めたり、「どの本が一番読みたくなったか？」の判断に必要な質問を心がけること。
7. 投票の基準は、「どの本が一番読みたくなったか？」であり、知り合いや身内の応援といった理由で投票を行わないこと。
8. 投票権は、すべての発表を聞いた参加者にのみ与えられる。
9. 司会者は 10 の場合を除き、投票には参加しない。
10. チャンプ本が複数となった場合は、決選投票を行う。その際、司会者 1 名の票を 1/2 票として加える。

ビブリオバトル公式ルール

1. 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
2. 順番に 1 人 5 分間で本を紹介する。
3. それぞれの発表の後に、参加者全員でその発表に関するディスカッションを 2 ～ 3 分間行う。
4. 全ての発表が終了した後に、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員が 1 人 1 票で行い、最多票を集めた本をチャンプ本とする。

1 開催概要

1-1 本戦 開催概要

名称：全国大学ビブリオバトル in ながさきピース文化祭 2025（第 16 回全国大学ビブリオバトル）

開催日時：2025 年 11 月 23 日（日・祝）13 時 50 分開会

開催場所：アルカス佐世保（長崎県佐世保市三浦町 2-3）

主催：文化庁、厚生労働省、長崎県、第 40 回国民文化祭、第 25 回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、活字文化推進会議

共催：一般社団法人ビブリオバトル協会、ビブリオバトル普及委員会

主管：読売新聞社

公式ウェブサイト：<https://zenkoku.bibliobattle.jp/>

公式 X アカウント：[@bibliozenkoku](https://twitter.com/bibliozenkoku)

主催者ウェブサイト：<https://kyoiku.yomiuri.co.jp/katsuji/collegebiblio/>

1-2 ブロック決戦 開催概要

ブロック決戦は「全国大学ビブリオバトル 2025 本戦」に進む出場者を決めるビブリオバトルのイベントである。ブロック決戦主催団体は「全国大学ビブリオバトル 2025〇〇ブロック決戦」のクレジットの下で、ブロック決戦を開催する。

主催：各ブロック決戦主催団体・個人

後援：活字文化推進会議、一般社団法人ビブリオバトル協会、ビブリオバトル普及委員会

開催日時：原則 2025 年 9 月 13 日～11 月 3 日の期間でブロック決戦主催団体の定める日

出場資格：各地で開催されるブロック予選を勝ち抜いた者

開催ブロック：

- ・ ブロック決戦主催団体応募状況に応じ、ブロック割りを全国大学ビブリオバトル運営事務局が決定する。
- ・ 最大で 36 ブロックを上限とする。
- ・ 一つのブロックの境界は都道府県境を一つの基準とするが、必ずしも他県からの参加を拒むものではなく、また、複数県で一つの地区をつくる場合もある。

<ブロック決戦主催団体の役割>

① 本選出場者の決定

「全国大学ビブリオバトル 2025」ブロック決戦の運営を行い、ブロック代表を決定する。全国大学ビブリオバトル運営事務局の示すブロック決戦開催要項を十分尊重しながら、ブロックの状況を踏まえ、ビブリオバトルの普及に役立つ形での運営を心がける。ブロック決戦の開催については、ビブリオバトル公式ルール、ならびに全国大学ビブリオバトルレギュレーションを遵守して行う。

② ブロック内のブロック予選主催者との連携

全国大学ビブリオバトル運営事務局の窓口として、ブロック内で開催されるブロック予選主催者と連携し、出場者への通知などの対応を行う。また、ブロック内で開催された各ブロック予選情報を把握する。

予選結果の報告については、ブロック予選主催団体が予選結果のフォームに入力・送信するとともに、メールにてブロック決戦主催団体にその旨を報告することとなっている。

③ 全国大学ビブリオバトル運営事務局との連携

ブロック内の状況を逐次、運営事務局に報告する。また、ブロック決戦終了後、すみやかにブロック決戦の結果を全国大学ビブリオバトル運営事務局に報告する。

<ブロック決戦主催団体 募集期間>

(第1次締切) 2025年4月30日、(第2次締切) 5月18日

<ブロック決戦 開催要項>

1. ブロック決戦主催者は期間内(原則:9月13日~11月3日)にブロック決戦を開催し、その結果について下記の内容をすみやかに運営事務局に報告する。
 - ① ブロック決戦主催者情報
メールアドレス、ブロック名、主催団体名、ご担当者名
 - ② ブロック決戦情報
開催日、開催方法、ブロック決戦会場、ブロック決戦発表参加者数、発表参加者を除くブロック決戦参加者数
 - ③ ブロック決戦チャンプ本獲得者情報
チャンプ本獲得者氏名、所属学校名・学部・学年、メールアドレス、連絡先電話番号、チャンプ本(書誌名、著者名、出版社名)、得票数
 - ④ 得票数が次点、3番手の発表参加者情報
紹介本、氏名、得票数
 - ⑤ 発表本情報(チャンプ本、得票数次点、3番手以外の書籍名)

ブロック決戦をオフライン開催にするかオンライン開催にするかは問わない。

オフライン・オンラインの参加者が混在するハイブリッドの開催も認める。

* オンライン開催の場合、オンライン開催の要件も遵守する。

オフライン開催: 原則参加者が実在する会場に集まり、対面環境で行う

オンライン開催: 原則参加者が Zoom、Google Meet、Teams 等を用いて、インターネット上の会場に集って行う

2. ブロック決戦進出者を決めるブロック予選が3回以上開催されること。なお、ブロック予選はブロック予選開催要項にしたがったものである。ブロック予選がブロック決戦と同日開催でも構わない。
3. 担当するブロックでのブロック予選開催者と連絡を取り合い、ブロック決戦に支障のない運営に取り組む。ブロック決戦出場者への通知など、担当するブロック内で開催され

るブロック予選開催者との連携も含まれる。また、ブロック決戦の開催情報を事前に運営事務局に報告する。

4. 担当するブロック内でブロック予選を開催することを奨励し、ブロック決戦が盛り上がるように心がける。
5. 担当するブロックのすべてのブロック予選でのチャンプ本獲得者をブロック決戦の参加者として受け入れる。発表参加者が多数になった場合、ブロック決戦のなかで準決勝→決勝のように階層を分けることは可能とする。
6. ブロック決戦主催団体が、独自に参加者の補助を行うことは自由とする。
7. ブロック決戦主催団体の中で必ず、1名はビブリオバトル普及委員会に入会する。
8. ブロック決戦の様子は終了後、本戦当日までの間にブログまたはウェブサイトなどを通して発信すること。また、それが「全国大学ビブリオバトル2025」のブロック決戦であることを明記する。
9. ブロック決戦主催団体が個別に協賛等を得ることは自由とする。また、ブロック決戦は、活字文化推進会議、一般社団法人ビブリオバトル協会、ビブリオバトル普及委員会が後援する。
主催：各ブロック決戦主催団体
後援：活字文化推進会議、一般社団法人ビブリオバトル協会、ビブリオバトル普及委員会
10. 本大会の個人情報の取扱いの指針に同意、協力する。
11. ブロック決戦はビブリオバトル公式ルール、および全国大学ビブリオバトルレギュレーションに則り開催する。特に、ルールの補足についてもよく理解し、開催の際に必ずビブリオバトルの趣旨を観客も含めた参加者全員に周知する。
12. ブロック決戦では紹介される本にテーマを設定することは不可とする。ブロック予選でのテーマの設定は自由とする。

<ブロック決戦交通費補助>

- ① 所属大学最寄り駅（鉄道）からブロック決戦会場最寄り駅（鉄道）の交通費が往復 3,000 円以上かかる出場者に限り、その半額（ただし、自己負担上限額を 5,000 円とする）が運営事務局より補助される。
- ② ブロック予選開催後、該当するブロック決戦出場者へ運営事務局より申請について案内する。
- ③ 交通費は運営事務局より出場者の金融機関口座へ直接振り込む。
* ブロック決戦がオンライン開催の場合、交通費の補助はない。

1-3 ブロック予選 開催概要

ブロック予選は、「全国大学ビブリオバトル 2025 ブロック決戦」に進む出場者を決めるイベントである。

主催：各ブロック予選主催団体・個人

開催日時：原則 2025 年 4 月～10 月中旬（もしくはブロック決戦主催団体の定める期限内）

<ブロック予選主催団体の役割>

① ブロック決戦出場者の決定

ブロック予選の運営を行い、各ブロック決戦出場者を 1 名決定する。運営事務局の示すブロック予選開催要項を十分尊重しながら、ビブリオバトルの普及に役立つ形での運営を心がける。ブロック予選の開催については、ビブリオバトル公式ルール、ならびに全国大学ビブリオバトルレギュレーションを遵守して行う。

オンライン開催の場合、オンライン開催の要件も遵守する。

② 該当のブロック決戦主催者との連携

該当のブロック決戦主催者と連携し、出場者への通知などの対応を行う。また、ブロック予選終了後はすみやかに結果をブロック決戦主催者に報告すること。

③ ブロック決戦出場者の交通費補助申請

ブロック予選から選出したブロック決戦出場者には条件付きで交通費補助がある。ブロック予選主催団体は交通費補助の規定に該当するかどうかを確認し、運営事務局へ報告する。

<ブロック予選 開催要項>

1. 原則 4 月～10 月中旬（もしくはブロック決戦主催団体の定める期日まで）の期間に「全国大学ビブリオバトル 2025」の予選となるビブリオバトルを開催し、ブロック決戦に出場する学生を決定する。
2. ブロック予選の開催種別は、オープン開催とクローズ開催の 2 種類がある。
 - ・オープン開催：複数の大学・専門学校の学生が出場可能な開催
 - ・クローズ開催：出場者を特定の 1 つの大学・専門学校の学生に制限する開催

オープン開催が望ましいが、事情により出場者を限定する場合、クローズ開催を認める。クローズ開催をする場合は、下記 3 の B「9 名以上の発表参加者による 2 階層以上の開催」を条件とする。

※オープン開催で募集をしたが、結果的に外部からの応募が無かった場合はオープン開催として認められる。

※やむを得ない事情で 9 人未満のクローズ開催になる場合、事前にその旨を運営事務局に届け承認を得る。

※急病や交通事情等で出場者がキャンセルしたことにより定員を下回る場合は、やむを得ない事情として開催が認められる。（ただし、オープンの場合は 2 名以上、クローズの場合は 8 名以上が必要となる。）

3. オープン開催の場合は下記 A、B どちらかの条件を、クローズ開催の場合は B の条件を満たすこと。

A. 原則として 4 名以上の発表参加者、かつ視聴参加者と発表参加者の合計が 10 名以上となるビブリオバトル。

B. 原則として 9 名以上の発表参加者による、2 階層以上のブロック予選

A、B ともに、発表参加者は大学生・大学院生（*1）に限定する。

（*1）

- ・専門学校、高専生など大学生相当年齢の学生含む。
- ・社会人大学生・大学院生、履修生等は、年齢は問わず参加資格があるものとする。
- ・大学・大学院・専門学校・高等専修学校については、学校教育法上該当するものに限る。
- ・その年度の 9 月卒業生も含む。
- ・上記に該当しない学生で出場を希望される方は、運営事務局に相談すること。

4. ブロック予選をオフライン開催するかオンライン開催するかは問わない。

オフライン・オンラインの参加者が混在するハイブリッドの開催も認める。

* オンライン開催の場合、オンライン開催の要件も遵守する。

オフライン開催：原則参加者が実在する会場に集まり、対面環境で行う。

オンライン開催：原則参加者が Zoom、Google Meet、Teams 等を用いて、インターネット上の会場に集って行う。

5. すでに他のブロック予選でチャンプ本を獲得していない場合に限り、複数回の出場が可能とする。

ただし、同一の主催者が開催するブロック予選に、同じ学生が複数回出場することは不可とする。

6. 1 つのブロック予選開催者が複数のブロック予選を開催した場合は、ブロック予選の数だけブロック決戦へチャンプ本獲得の学生を輩出することができるが、必ず公平を期した運営を行い、ブロック予選の情報については、開催毎にブロック決戦主催団体へ報告する。

7. ブロック予選終了後、下記の内容をすみやかにブロック決戦主催団体まで報告すること。

- ① ブロック予選主催者情報（ブロック名、主催団体名、担当者名）
- ② ブロック予選情報（開催日、開催方法、ブロック予選会場）
- ③ ブロック予選の中で行われたビブリオバトルの階層数（1 階層または 2 階層以上）
- ④ 発表参加者数（実人数）
* 2 階層以上のブロック予選を行った場合、下位予選に出場した人数
- ⑤ 発表参加者以外（視聴参加者）の参加者数（およそ）
- ⑥ 参加学校名（すべて（発表参加者））
- ⑦ チャンプ本獲得者（ブロック決戦進出者）情報
 - ・氏名（ふりがな）
 - ・学校名、学部、学年

- ・連絡先電話番号
- ・連絡先メールアドレス（PC アドレス）
- ・ブロック決戦会場への交通費補助の対象に該当するかどうか
- ・チャンプ本情報（書籍名）

⑧ チャンプ本以外の紹介本情報（書籍名）

8. ブロック予選申込み後、本要項を満たす開催が困難であると予想される場合は、すみやかに運営事務局、およびブロック決戦主催団体に連絡する。
9. ブロック予選の様子は終了後、本戦当日までの間にブログまたはウェブサイトなどを通して発信する。詳細な形式は問わない。また、それが「全国大学ビブリオバトル 2025」のブロック予選であることを明記する。
10. 本大会の個人情報の取扱いの指針に同意いただき、協力する。
11. ブロック予選は公式ルール、および全国大学ビブリオバトルレギュレーションに則り開催する。特に、ルールの補足についてもよく理解し、開催の際に必ずビブリオバトルの趣旨を観客も含めた参加者全員に周知する。
12. 紹介する本にテーマを設定しても構わない。ブロック決戦ではテーマの設定は不可とする。

1-4 オンライン開催の要件

1. 原則、発表時およびディスカッション時（ビブリオバトル公式ルール 2. と 3. に相当）、発表を行う参加者の映像・音声を、参加者全員が視聴できる状態であること。ただし、通信状況や通信機器のトラブル等による一時的な映像・音声の中断は認める。
2. 発表参加者側の通信環境が原因で発表・ディスカッションが中断された場合、原則発表・ディスカッションのやり直しは行わない。
3. 発表参加者が画面共有機能を使用することは不可とする。
4. ディスカッション時、質問をチャット機能などを用いてテキスト形式で募集しても構わない。ただし、その場合参加者は原則質問や感想、回答等をディスカッションの時間にのみ送信できることとする。

1-5 ブロック予選・ブロック決戦 開催団体一覧

表 1-1. ブロック予選・ブロック決戦 開催団体一覧

ブロック	ブロック決戦主催団体名
北海道 A	ブロック決戦主催団体：ビブリオバトル北海道
	北海学園大学図書館サークル「おおぐま座」
	帯広畜産大学ボランティア団体「とことこあるこう」
	北海学園大学人文学部二部田中綾ゼミ
	北海道情報大学 坂本ゼミ
東北 A	ブロック決戦主催団体：海辺の図書館
	盛岡大学図書館
	東北学院大学図書館
	ノキシタビブリオ
関東 A	ブロック決戦主催団体：茨城県ビブリオバトル実行委員会
	常磐大学
	筑波大学ビブリオバトル実行委員会
	茨城キリスト教大学
	茨城大学図書館
	茨城女子短期大学
関東 B	ブロック決戦主催団体： 彩の国大学生ビブリオバトル実行委員会（主催） さいたま市立中央図書館（協力）
	聖学院大学総合図書館
	秋草学園短期大学
	城西大学水田記念図書館
	聖学院大学人文学部欧米文化学科
関東 C	ブロック決戦主催団体：帝京大学メディアライブラリーセンター
	創価大学附属図書館

千葉大学ビブリオバトル実行委員会 A	
東海大学文化社会学部広報メディア学科 増田ゼミ	
帝京大学メディアライブラリーセンター	
関東 D	ブロック決戦主催団体：群馬県大学図書館協議会
高崎商科大学図書館サポーターA	
高崎商科大学図書館サポーターB	
高崎商科大学図書館サポーターC	
群馬大学総合情報メディアセンター中央図書館	
群馬県大学図書館協議会	
関東 E	ブロック決戦主催団体：Kat'n Bac
個人（ビブリオバトル普及委員会理事）開催 A	
個人（ビブリオバトル普及委員会理事）開催 B	
青山学院大学万代記念図書館	
千葉大学ビブリオバトル実行委員会 B	
千葉大学ビブリオバトル実行委員会 C	
北陸 A	ブロック決戦主催団体：金沢大学附属図書館
金沢大学附属図書館	
富山大学附属図書館	
石川県立大学 図書・情報センター	
福井大学附属図書館	
中部内陸 A	ブロック決戦主催団体：都留文科大学附属図書館
山梨英和大学附属図書館	
山梨英和大学附属図書館学生協働サークル LIKE	
都留文科大学図書館サークル Libropass	
都留文科大学附属図書館	

中部内陸 B	ブロック決戦主催団体：ビブリオバトルこうしん
信州大学教育学部図書館	
清泉大学図書館	
長野工業高等専門学校	
東海 A	ブロック決戦主催団体： (主催) 名古屋きたビブリオバトル (共同開催) サカバンブックス (名城大学学生コミュニティ) (協力) 名城大学社会連携センター
名古屋きたビブリオバトルA	
名古屋きたビブリオバトルB	
中部学院大学附属図書館	
東海 B	ブロック決戦主催団体：皇學館大学ビブロフィリア
皇學館大学ビブロフィリア	
皇學館大学 岡野ゼミ	
皇學館大学附属図書館ふみくら倶楽部	
関西 A	ブロック決戦主催団体：生駒市図書館
生駒市図書館 A	
摂南大学図書館	
四天王寺大学図書館 B	
帝塚山大学フミヨミプロジェクト	
関西 B	ブロック決戦主催団体：龍谷大学図書館 ライブラリーサポーター
大阪電気通信大学 寝屋川キャンパス図書館	
龍谷大学深草図書館	
龍谷大学 ライブラリーサポーター	
個人開催	
関西 C	ブロック決戦主催団体：大阪工業大学知的財産学部
神戸女子大学須磨キャンパス図書館ボランティア	
追手門学院大学 日本語表現 授業担当	

大阪成蹊大学図書館	
近畿大学情報学部システムデザイン論研究室 A	
関西 D	ブロック決戦主催団体：大阪経済大学図書館
大阪経済大学図書館 A	
大阪経済大学図書館 B	
近畿大学情報学部システムデザイン論研究室 B	
大阪成蹊短期大学図書館	
関西 E	ブロック決戦主催団体：大阪工業大学知的財産学部
大阪電気通信大学 四條畷キャンパス図書館	
大阪工業大学図書館大宮本館 A	
大阪工業大学図書館大宮本館 B	
関西 F	ブロック決戦主催団体：生駒市図書館
生駒市図書館 B	
四天王寺大学 A	
奈良県立大学村瀬ゼミ	
中国 A	ブロック決戦主催団体： 島根県立大学松江キャンパス図書館学生図書委員会
島根県立大学松江キャンパス図書館学生図書委員会 A	
島根県立大学松江キャンパス図書館学生図書委員会 B	
島根県立大学松江キャンパス図書館学生図書委員会 C	
中国 B	ブロック決戦主催団体：鳥取県大学図書館等協議会
公立鳥取環境大学情報メディアセンター	
鳥取大学 学生図書館ワーキンググループ	
「言語感覚」研究会 鳥取大学本部	
鳥取看護大学・鳥取短期大学図書館倶楽部	
中国 C	ブロック決戦主催団体：広島県大学図書館協議会
福山大学附属図書館	

広島市立大学附属図書館	
広島工業大学附属図書館	
中国 D	ブロック決戦主催団体：広島県大学図書館協議会
広島大学図書館 A	
広島大学図書館 B	
県立広島大学	
四国 A	ブロック決戦主催団体：愛媛地区大学図書館協議会 ビブリオバトル愛媛地区決戦実行委員会事務局
松山大学図書館・松山大学生生活協同組合 A	
松山大学図書館・松山大学生生活協同組合 B	
愛媛県立医療技術大学 A	
愛媛県立医療技術大学 B	
松山大学「児童サービスでもビバ！」	
愛媛大学「メディアを知ろう in 愛大」	
四国 B	ブロック決戦主催団体：阿波ビブリオバトルサポーター
阿波ビブリオバトルサポーター	
まちライブラリー・ビブリオラボとくしま	
個人開催	
四国 C	ブロック決戦主催団体：高知学園大学高知学園短期大学図書館
個人開催 A	
個人開催 B	
高知学園大学高知学園短期大学図書館	
九州 A	ブロック決戦主催団体：福岡女子短期大学
福岡女子短期大学文化教養学科 A	
福岡女子短期大学第 59 回風早祭 B	
九州女子大学 生活デザイン学科	
北九州市立大学図書館	

九州 B	ブロック決戦主催団体：福岡女子短期大学
福岡女子短期大学第 59 回風早祭 A	
福岡女子短期大学文化教養学科 B	
Communication library	
九州 C	ブロック決戦主催団体：ながさきピース文化祭 2025 長崎県実行委員会
鎮西学院大学ぶっく倶楽部 A	
鎮西学院大学ぶっく倶楽部 B	
鎮西学院大学ぶっく倶楽部 C	
ながさきピース文化祭 2025 長崎県実行委員会	
全国 A	ブロック決戦主催団体：一般社団法人ビブリオバトル協会
阪大ビブリオバトル	
大東文化大学 60 周年記念図書館	
近畿大学情報学部システムデザイン論研究室 C	
千葉大学ビブリオバトル実行委員会 D	
長崎県選出枠	主催団体：ながさきピース文化祭 2025 長崎県実行委員会



図 1-1. 各ブロックの本戦参加枠数配分

2 ブロック予選・ブロック決戦 開催報告

2025 年は前年度と同様の本戦主催体制で、ブロック予選・ブロック決戦主催団体の募集を 4 月にスタートし、本戦の 11 月に向けてほぼ半年間をかけて、ブロック予選・ブロック決戦を開催した。また、前大会に続き「特別枠制度※」を実施し、本戦発表は 30 名参加となった。過去の情報を含めたブロック予選・ブロック決戦および本戦の各参加数を表 2-1 に示す。また、予選会開催回数と発表者の推移をグラフに示す。

表 2-1. ブロック予選・ブロック決戦および本戦 参加数

年度	予選会*1 開催数	予選会 発表 参加者数	予選会 観客数 (おおよそ)	予選会 参加学校数	本戦 発表 参加者数	本戦 観客数*4 (おおよそ)
2025 年	138 回	3,978 名*2	6,045 名	105 校	30 名	500 名
2024 年	129 回	1,756 名	4,977 名	101 校	30 名	450 名
2023 年	122 回	1,583 名	5,658 名	93 校	30 名	400 名
2022 年	104 回	1,524 名	2,234 名	81 校	25 名	300 名
2021 年	28 回	624 名	1,179 名	51 校	30 名	235 名
2020 年	28 回	494 名	800 名	60 校	23 名	199 名
2019 年	293 回	1,526 名	5,450 名	128 校	36 名	400 名
2018 年	223 回	1,598 名	4,597 名	115 校	36 名	800 名
2017 年	209 回	1,090 名	5,044 名	127 校	36 名	350 名
2016 年	228 回	1,207 名	5,600 名	125 校	29 名	500 名
2015 年	181 回	914 名	4,500 名	98 校	30 名	450 名
2014 年	180 回	874 名	4,400 名	130 校	30 名	450 名
2013 年	177 回	804 名	4,000 名	124 校	30 名	3,300 名
2012 年	132 回	524 名	2,400 名	92 校	32 名	3,000 名
2011 年	32 回	182 名	950 名	32 拠点*3	34 名	1,600 名
2010 年	15 回	53 名	—	28 校	20 名	450 名

*1 予選会は、ブロック予選・ブロック決戦の合計

*2 追手門学院大学様が学年全体でブロック予選を開催したため急増した。

*3 2011 年の参加学校数は 36 大学以上

*4 本戦観客数は 2013 年度までは延べ人数、2014 年度以降は入場者数

◆2020 年、2021 年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止になったため、代替大会として「[大学ビブリオバトル・オンライン大会 2020](#)」「[大学ビブリオバトル・オンライン大会 2021](#)」を開催した。2020 年大会の本戦観客数は Zoom 参加者数。2021 年大会の本戦観客数は Zoom の投票者数。

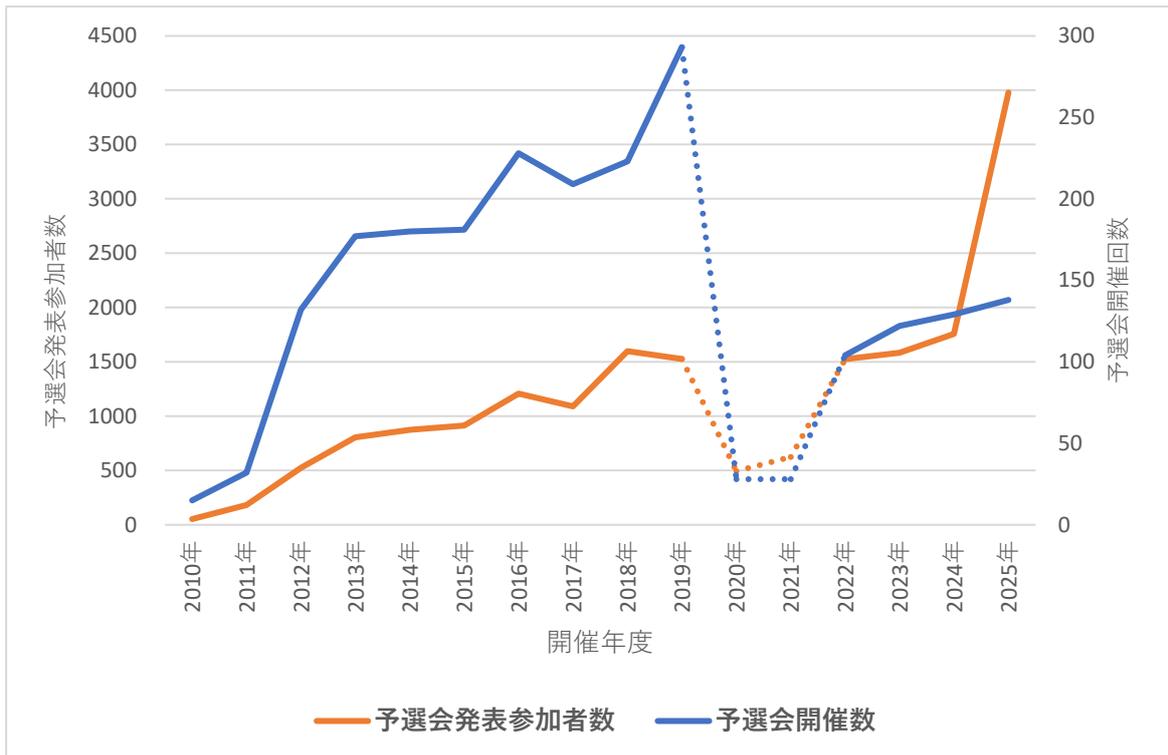


図 2-1. 予選開催数と発表者数の推移

※特別枠制度（敗者復活枠・追加配分枠・長崎県選出枠）について
特別枠は、原則、以下の場合に本戦への出場枠を追加する。

【敗者復活枠】

本戦出場枠数に対する発表参加者数が他のブロックに比べて多く、各発表参加者に不公平が生じると判断されたブロックへ新たに枠を与える。原則、次点発表参加者が特別枠候補となる。

【追加配分枠】

一つのブロック決戦主催団体が多くのブロック予選を開催し、一地区として独立させることが妥当とされる場合や、地域全体の状況や全国の状況から新たに枠を与えるに値すると判断された場合、追加の配分枠を設ける。

【長崎県選出枠】

長崎県が選出した発表参加者に一枠を与える。

2-1 ブロック予選開催報告

各ブロック別のブロック予選開催状況を表 2-2 に示す。ウェブサイト上で公開された各地のブロック予選・ブロック決戦の開催の様子についてまとめた報告書は、公式ウェブサイトの記録ページにて公開している。<https://zenkoku.bibliobattle.jp/records2025>

表 2-2. ブロック予選開催状況

団体名	開催日	開催場所	発表者数	観客数
北海道 A ブロック				
北海学園大学図書館サークル 「おおぐま座」	10/14	北海学園大学 3号館 2階 E20 教室	5	13
帯広畜産大学ボランティア団体 「とことこあるこう」	10/14	帯広畜産大学附属図書館	4	9
北海学園大学人文学部二部田中 綾ゼミ	10/14	北海学園大学 1号館 3階 A301 ゼミ室	4	11
北海道情報大学 坂本ゼミ	10/14	北海道情報大学	4	6
北海道 A ブロック 計			17	39
東北 A ブロック				
盛岡大学図書館	9/27	盛岡大学図書館学習室	3*	8
東北学院大学 図書館	10/9	東北学院大学中央図書館 1F ライブラリスクエア	4	14
ノキシタビブリオ	10/18	Open Village ノキシタ、Discord	5	5
東北 A ブロック 計			12	27
関東 A ブロック				
茨城大学図書館	10/15	茨城大学図書館ライブラリーホール	6	116
茨城女子短期大学	10/17	茨城女子短期大学 1号館視聴覚室	6	45
茨城キリスト教大学	10/21	茨城キリスト教大学図書館 2階ラーニングコモンズエリア	5	12
常磐大学	10/31	常磐大学 Q棟図書館 カフェテリア	4	31
筑波大学ビブリオバトル実行委 員会	10/9 10/14 10/22	筑波大学ビブリオバトルスタジオ、 YouTube	9	30
関東 A ブロック 計			30	234
関東 B ブロック				
聖学院大学総合図書館	7/16	聖学院大学総合図書館	3*	18

聖学院大学人文学部欧米文化学科	7/11 7/18	聖学院大学総合図書館	19	36
秋草学園短期大学	7/8 7/14 7/15 9/27	秋草学園短期大学構内	9	90
城西大学水田記念図書館	10/9	城西大学水田記念図書館 1階グループワークエリア	5	44
関東Bブロック 計			36	188
関東Cブロック				
創価大学附属図書館	9/3	創価大学中央図書館	6	26
帝京大学メディアライブラリーセンター	10/9	帝京大学メディアライブラリーセンター	15	36
東海大学文化社会学部 広報メディア学科増田ゼミ	10/13	東海大学 湘南キャンパス 3号館 202、14号館 308	16	54
千葉大学ビブリオバトル実行委員会 A	10/21	千葉大学	6	20
関東Cブロック 計			43	136
関東Dブロック				
高崎商科大学図書館サポーターA	9/17	高崎商科大学	4	26
高崎商科大学図書館サポーターB	9/17	高崎商科大学	4	26
高崎商科大学図書館サポーターC	9/17	高崎商科大学	4	26
群馬大学総合情報メディアセンター中央図書館	9/29	群馬大学総合情報メディアセンター 中央図書館 2階学習室	3*	11
群馬県大学図書館協議会	11/2	群馬県立図書館	4	30
関東Dブロック 計			19	119
関東Eブロック				
個人開催 A	10/5	千代田区立日比谷図書文化館	4	6
個人開催 B	10/5	千代田区立日比谷図書文化館	3*	6
青山学院大学万代記念図書館	10/11	青山学院大学万代記念図書館	3*	25
千葉大学ビブリオバトル実行委員会 B	10/21	千葉大学	4	22
千葉大学ビブリオバトル実行委員会 C	10/28	千葉大学中央図書館オープンスペース	6	20
関東Eブロック 計			20	79

中部内陸 Aブロック				
山梨英和大学附属図書館	6/25	山梨英和大学附属図書館	5	21
都留文科大学図書館サークル Libropass	10/14	都留文科大学 3号館 3301 教室	4	26
山梨英和大学附属図書館学生協 働サークル LIKE	10/22	山梨英和大学附属図書館	5	8
都留文科大学附属図書館	11/1	都留文科大学附属図書館 2階 PC コーナー	4	13
中部内陸 Aブロック 計			18	68
中部内陸 Bブロック				
長野工業高等専門学校	6/24	長野工業高等専門学校	3*	9
信州大学教育学部図書館	6/25	信州大学教育学部図書館 2階グループ学習室	5	8
清泉大学図書館	10/21	清泉大学	3*	14
中部内陸 Bブロック 計			11	31
北陸 Aブロック				
富山大学附属図書館	6/18	富山大学中央図書館プレゼンテーシ ョンゾーン	4	14
福井大学附属図書館	10/10	福井大学総合図書館 1階ラウンジ	4	14
金沢大学附属図書館	10/10	金沢大学附属図書館 中央図書館ブッ クラウンジ	4	13
石川県立大学 図書・情報セン ター	10/8	石川県立大学 図書・情報センター	4	40
北陸 Aブロック 計			16	81
東海 Aブロック				
名古屋きたびブリオバトル A	9/27	名城大学ナゴヤドーム前キャンパス 西館 2F 社会連携ゾーン shake	4	11
名古屋きたびブリオバトル B	9/27	名城大学ナゴヤドーム前キャンパス 西館 2F 社会連携ゾーン shake	3*	12
中部学院大学附属図書館	10/6	中部学院大学 関キャンパス L.E.A.P.Plaz	5	20
東海 Aブロック 計			12	43
東海 Bブロック				
皇學館大学附属図書館ふみくら 倶楽部	10/7	皇學館大学附属図書館 会議室	4	7
皇學館大学 岡野ゼミ	10/9	皇學館大学 5号館 534 教室	6	5

皇學館大学ビブロフィリア	10/23	皇學館大学附属図書館 2階 ラーニングコモンズ	5	7
東海 B ブロック 計			15	19
関西 A ブロック				
生駒市図書館 A	9/28	生駒市図書館	4	12
四天王寺大学 B	10/9	四天王寺大学 8号館	4	41
摂南大学図書館	10/14	摂南大学図書館ラーニングコモンズ	6	7
帝塚山大学フミヨミプロジェクト	10/17	帝塚山大学東生駒キャンパス 1号館 1205 教室	5	11
関西 A ブロック 計			19	71
関西 B ブロック				
大阪電気通信大学 寝屋川キャンパス図書館	9/20	大阪電気通信大学 寝屋川キャンパス図書館	5	20
龍谷大学深草図書館	10/17	龍谷大学 深草図書館 B1階 ナレッジスクエア	4	10
個人開催	10/20	オンライン (Google Meet)	3*	15
龍谷大学図書館 ライブラリーサポーター	10/21	龍谷大学 深草図書館 B1階 ナレッジスクエア	4	13
関西 B ブロック 計			16	58
関西 C ブロック				
神戸女子大学須磨キャンパス図書館ボランティア	6/26	神戸女子大学・神戸女子短期大学須磨キャンパス図書館 4階 AV ホール	5	23
追手門学院大学 日本語表現授業担当	7/24	追手門学院大学 総持寺キャンパス アラムナイライブラリー内 アカデミックアリーナ	2,600	2,750
大阪成蹊大学図書館	9/19	大阪成蹊大学 中央館	347	20
近畿大学情報学部システムデザイン論研究室 A	10/25	まちライブラリー in 東大阪市文化創造館	4	21
関西 C ブロック 計			2,956	2,814
関西 D ブロック				
大阪経済大学図書館 A	6/20	大阪経済大学図書館	5	17
大阪成蹊短期大学	7/10	大阪成蹊短期大学 グローバル館	330	50
近畿大学情報学部システムデザイン論研究室 B	10/26	まちライブラリー in 東大阪市文化創造館	4	19
大阪経済大学図書館 B	10/31	大阪経済大学図書館	2*	13

関西 D ブロック 計			341	99
関西 E ブロック				
大阪電気通信大学 四條畷キャンパス図書館	10/9	大阪電気通信大学 四條畷キャンパス図書館	4	6
大阪工業大学図書館大宮本館 A	10/18	大阪工業大学大宮キャンパス 5号館 6階ラーニングcommons 6	9	13
大阪工業大学図書館大宮本館 B	10/18	大阪工業大学大宮キャンパス 5号館 6階ラーニングcommons 6	9	13
関西 E ブロック 計			22	32
関西 F ブロック				
生駒市図書館 B	9/28	生駒市図書館	3*	12
四天王寺大学 A	10/6	四天王寺大学図書館 8号館	4	31
奈良県立大学村瀬ゼミ	10/21	花園新温泉	5	29
関西 F ブロック 計			12	72
中国 A ブロック				
島根県立大学松江キャンパス学生図書委員会 A	6/10	島根県立大学松江キャンパス図書館	4	26
島根県立大学松江キャンパス学生図書委員会 B	7/8	島根県立大学松江キャンパス図書館	4	28
島根県立大学松江キャンパス学生図書委員会 C	9/26	島根県立大学松江キャンパス図書館	4	30
中国 A ブロック 計			12	84
中国 B ブロック				
公立鳥取環境大学 情報メディアセンター	10/10	公立鳥取環境大学 情報メディアセンター	5	13
鳥取看護大学・鳥取短期大学図書館倶楽部	10/19	鳥取看護大学・鳥取短期大学附属図書館本館	8	15
鳥取大学 学生図書館ワーキンググループ	10/22	鳥取大学附属図書館 1階ラーニングcommons	5	18
「言語感覚」研究会 鳥取大学本部	10/23	鳥取大学	9	16
中国 B ブロック 計			27	62
中国 C ブロック				
福山大学附属図書館	6/30	福山大学附属図書館	7	13
広島市立大学附属図書館	10/25	広島市立大学附属図書館	4	18

広島工業大学	10/29	広島工業大学 三宅の森 Nexus21 nexus for.	4	12
中国 Cブロック 計			15	43
中国 Dブロック				
広島大学図書館 A	10/18	広島大学中央図書館 1階 BIBLA グル ープスペース	4	20
広島大学図書館 B	10/18	広島大学中央図書館 1階 BIBLA グル ープスペース	4	23
県立広島大学	10/18	県立広島大学	5	13
中国 Dブロック 計			13	56
四国 Aブロック				
愛媛大学「メディアを知ろう in 愛大」	6/4	愛媛大学教育学部 103 教室	5	57
松山大学図書館・松山大学生生活 協同組合 A	6/26	松山大学 樋又キャンパス H2A 教室	5	25
愛媛県立医療技術大学 A	7/17	愛媛県立医療技術大学	48	4
愛媛県立医療技術大学 B	7/17	愛媛県立医療技術大学	48	4
松山大学「児童サービスでもビ バ！」	7/17	松山大学 843 教室	17	15
松山大学図書館・松山大学生生活 協同組合 B	10/16	松山大学 文京キャンパス 2号館 1階 214 番教室	8	28
四国 Aブロック 計			131	133
四国 Bブロック				
個人開催	9/20	徳島大学附属図書館 1階 カフェテリア	4	8
まちライブラリー・ビブリオラ ボとくしま	9/23	PARKET	4	9
阿波ビブリオバトルサポーター	10/10	徳島大学附属図書館	4	7
四国 Bブロック 計			12	24
四国 Cブロック				
個人開催 A	10/10	高知学園短期大学 141 教室	9	6
個人開催 B	10/22	高知学園短期大学 141 教室	9	6
高知学園大学高知学園短期大学 学生図書館委員会	10/24	高知学園大学高知学園短期大学図書 館閲覧スペース	9	6
四国 Cブロック 計			27	18

九州 A ブロック				
北九州市立大学図書館	6/28	北九州市立大学図書館 本館 1F 図書館ホール	6	27
福岡女子短期大学文化教養学科 A	6/16 10/6	福岡女子短期大学	13	26
九州女子大学 生活デザイン学 科	10/18	九州女子大学 50周年記念ホール	45	150
福岡女子短期大学 第59回風早 祭 B	10/25	福岡女子短期大学	3*	47
九州 A ブロック 計			67	250
九州 B ブロック				
福岡女子短期大学文化教養学科 B	6/16 10/6	福岡女子短期大学	14	28
Communication library	10/4	福岡工業大学附属図書館	5	10
福岡女子短期大学 第59回風早 祭 A	10/25	福岡女子短期大学	3*	23
九州 B ブロック 計			22	61
九州 C ブロック				
鎮西学院大学 ぶっく倶楽部 A	7/6	諫早図書館 2階視聴覚ホール	4	56
鎮西学院大学 ぶっく倶楽部 B	9/18	長崎県庁 1F 協働エリア	4	87
鎮西学院大学 ぶっく倶楽部 C	9/18	長崎県庁 1F 協働エリア	4	30
ながさきピース文化祭 2025 長崎 県実行委員会	9/27	佐世保市まちなかコミュニティセン ター	4	18
九州 C ブロック 計			16	191
全国 A ブロック				
阪大ビブリオバトル	9/21	オンライン(Discord)	4	7
大東文化大学 60周年記念図書館	10/11	大東文化大学 60周年記念図書館	6	73
近畿大学情報学部システムデザ イン論研究室 C	10/25	まちライブラリー in 東大阪市文化創 造館	4	21
千葉大学ビブリオバトル実行委 員会 D	10/28	千葉大学中央図書館オープンスペ ース	7	21
全国 A ブロック 計			21	122
総合計 (のべ人数)			3,978	5,254

*当日の体調不良や交通事情により辞退者あり。

表 2-3. 予選会発表参加者 所属校一覧

五十音順

青山学院大学	駒澤大学	鳥取短期大学
秋草学園短期大学	四天王寺大学	富山大学
育英大学	島根県立大学	長崎県立大学
石川県立大学	十文字学園女子大学	長崎国際大学
石川県立大学大学院	尚絅学院大学	長崎純心大学
石川工業高等専門学校	城西大学	名古屋工業大学
茨城キリスト教大学	信州大学	奈良教育大学
茨城女子短期大学	聖学院大学	奈良大学
茨城大学	清泉大学	奈良県立大学
愛媛県立医療技術大学	清泉大学短期大学部	日本大学
愛媛大学	摂南大学	広島市立大学
追手門学院大学	創価大学	広島工業大学
大阪経済大学	大東文化大学	広島大学
大阪工業大学	高崎商科大学	福井大学
大阪国際大学	高崎商科大学短期大学部	福岡工業大学
大阪成蹊大学	千葉大学	福岡女子短期大学
大阪成蹊短期大学	中部学院大学	福島大学
大阪電気通信大学	中部学院大学短期大学部	福山大学
大手前大学	鎮西学院大学	法政大学
帯広畜産大学	筑波大学	放送大学
香川大学	都留文科大学	北海学園大学
金沢星稜大学	帝京大学	北海道情報大学
金沢大学	テクノ・ホルティ園芸専門学校	松山大学
北九州市立大学	帝塚山大学	宮城教育大学
九州女子大学	東海大学	名城大学
近畿大学	東京家政大学	盛岡大学
群馬大学	東京大学	山梨英和大学
芸術文化観光専門職大学	東京農業大学大学院	立教大学
県立広島大学	同志社大学	立正大学
工学院大学	東北学院大学	龍谷大学
皇學館大学	東北大学	早稲田大学
高知学園大学	常磐大学	
高知学園短期大学	徳島大学	
神戸女子大学	長野工業高等専門学校	
神戸大学大学院	常葉大学	
公立鳥取環境大学	鳥取看護大学	
國學院大學	鳥取大学	

合計 105 校

2-2 ブロック決戦開催報告

表 2-4. ブロック決戦開催状況

ブロック	主催団体名	開催日	開催場所	発表者数(名)	観客数(名)
北海道 A	ビブリオバトル北海道	10/19	オンライン (Zoom)	4	5
東北 A	海辺の図書館	10/26	せんだい 3.11 メモリアル交流館	3	18
関東 A	茨城県ビブリオバトル実行委員会	11/9	茨城県立図書館	5	100
関東 B	彩の国大学生ビブリオバトル実行委員会	10/19	さいたま市立中央図書館 イベントルーム	3*	36
関東 C	帝京大学メディアライブラリーセンター	10/25	帝京大学メディアライブラリーセンターBF メディアラウンジ	4	43
関東 D	群馬県大学図書館協議会	11/2	群馬県立図書館	5	38
関東 E	Kat'n Bac	11/2	紀伊國屋書店新宿本店	5	27
北陸 A	金沢大学附属図書館	10/18	石川県立図書館 だんだん広場	4	44
中部内陸 A	都留文科大学附属図書館	11/1	都留文科大学附属図書館 2階 PC コーナー	4	33
中部内陸 B	ビブリオバトルこうしん	11/2	県立長野図書館 3階 「信州・学び創造ラボ」	3	9
東海 A	名古屋きたビブリオバトル	10/18	名城大学社会連携ゾーン shake	3	7
東海 B	皇學館大学ビブロフィリア	10/30	皇學館大学 5号館 534 教室	3	14
関西 A	生駒市図書館	10/26	生駒市図書館	4	36
関西 B	龍谷大学図書館 ライブラリーサポーター	10/25	龍谷大学 深草キャンパス 和顔館 アクティビティホール	4	16
関西 C	大阪工業大学知的財産学部	11/1	大阪工業大学梅田キャンパス 1階エントランスギャラリー	4	37
関西 D	大阪経済大学図書館	10/31	大阪経済大学図書館	4	30
関西 E	大阪工業大学知的財産学部	11/1	大阪工業大学梅田キャンパス 1階エントランスギャラリー	3	33

関西 F	生駒市図書館	10/26	生駒市図書館	3	37
中国 A	島根県立大学松江キャンパス図書館学生図書委員会	10/24	島根県立大学松江キャンパス図書館	3	9
中国 B	鳥取県大学図書館等協議会	11/3	鳥取大学 Tottori uniQ (旧広報センター) コミュニティ・デザイン・ラボ	4	16
中国 C	広島県大学図書館協議会	11/1	広島大学東千田キャンパス地域連携フロア SENDA LAB	3	30
中国 D	広島県大学図書館協議会	11/1	広島大学東千田キャンパス地域連携フロア SENDA LAB	3	33
四国 A	愛媛地区大学図書館協議会 ビブリオバトル愛媛地区決戦実行委員会事務局	10/25	愛媛大学中央図書館 4階 視聴覚室	6	11
四国 B	阿波ビブリオバトルサポーター	10/19	徳島大学附属図書館、Zoom	3	5
四国 C	高知学園大学高知学園短期大学図書館	10/26	高知学園大学高知学園短期大学 711 教室	3	17
九州 A	福岡女子短期大学	11/1	福岡女子短期大学	4	28
九州 B	福岡女子短期大学	11/1	福岡女子短期大学	3	29
九州 C	ながさきピース文化祭 2025 長崎県実行委員会	10/19	ミライ on 図書館 多目的 ホール	4	35
全国 A	一般社団法人ビブリオバトル協会	11/3	オンライン (Zoom)	4	15
合 計				108	791

*ブロック予選チャンプ本獲得者によるブロック決戦出場辞退のため、欠場者あり。

表 2-5. ブロック決戦結果一覧

ブロック	チャンプ本 獲得者	所属名	ブロック決戦チャンプ本
北海道 A	生出 圭吾	北海道情報大学 情報メディア学部 3年	『最後の医者は桜を見上げて君を想う』 二宮敦人（著） TO ブックス
東北 A	加藤 凜	盛岡大学 児童教育学科 4年	『先生、どうか皆の前でほめないで下さい—いい子症候群の若者たち』 金間大介（著） 東洋経済新報社
関東 A	角田 裕一郎	茨城大学 人文学部 2年	『渚にて 人類最後の日』 ネヴィル・シュート（著）佐藤龍雄（訳） 東京創元社
関東 B	小久保 太陽	聖学院大学 人文学部 4年	『死にがいを求めて生きているの』 朝井リョウ（著） 中央公論新社
関東 C	兎澤 友紀	立正大学 文学部 1年	『地球星人』 村田沙耶香（著） 新潮社
関東 D	小此木 陽菜	テクノ・ホルティ園芸専門 学校 園芸1類学科 2年	『とんこつ Q&A』 今村夏子（著） 講談社
関東 E	和田 拓磨	日本大学 文理学部 1年	『ある行旅死亡人の物語』 武田惇志／伊藤亜衣（著） 毎日新聞出版
中部内陸 A	三井 結	都留文科大学 文学部 3年	『四維街一号に暮らす五人』 楊双子（著）三浦裕子（訳） 中央公論新社
中部内陸 B	伊藤 仁城	長野工業高等専門学校 電子制御工学科 5年	『小説』 野崎まど（著） 講談社
北陸 A	櫻井 亜仁沙	石川県立大学 生物資源環境学部 3年	『お探し物は図書室まで』 青山美智子（著） ポプラ社
東海 A	辻 奈々心	中部学院大学 看護リハビリテーション 学部 1年	『陽気なギャングが地球を回す』 伊坂幸太郎（著） 祥伝社
東海 B	橋本 凜央	皇學館大学 文学部 1年	『この会社は実在しません』 ヨシモトミネ（著） KADOKAWA

関西 A	松本 志歩	四天王寺大学短期大学部 ライフデザイン科 1年	『医者の子が息子に綴る 人生の扉をひらく鍵』 中山祐次郎（著） あさま社
関西 B	小坂 世志朗	大阪電気通信大学 総合情報学部 4年	『『ドラえもん』で哲学する 物事の見方が変わるヒント』 小川仁志（著） PHP 研究所
関西 C	福島 鈴夏	大阪成蹊大学 教育学部 2年	『殺人出産』 村田沙耶香（著） 講談社
関西 D	尾崎 心紀	大阪経済大学 経営学部 3年	『世界でいちばん透きとおった物語』 杉井光（著） 新潮社
関西 E	上白木 綾菜	大阪電気通信大学 工学部 4年	『どうせそろそろ死ぬんだし』 香坂鮪（著） 宝島社
関西 F	岩本 真愛	四天王寺大学短期大学部 ライフデザイン学科 1年	『愛唄』 小林雄次（著） 朝日新聞出版
中国 A	鈴木 亜依	島根県立大学 人間文化学部 2年	『カケラ』 湊かなえ（著） 集英社
中国 B	稲村 文香	鳥取大学 地域学部 1年	『きみの友だち』 重松清（著） 新潮社
中国 C	魚谷 陽翔	福山大学 人間文化学部 1年	『僕たちの好きだった革命』 鴻上尚史（著） 角川学芸出版
中国 D	浜本 菜美	県立広島大学 地域創生学部 4年	『異常【アノマリー】』 エルヴェ・ル・テリエ（著） 加藤かおり（訳） 早川書房
四国 A	山本 瑠香	松山大学 法学部 4年	『全員犯人、だけど被害者、しかも探偵』 下村敦史（著） 幻冬舎
四国 B	中井 里沙	徳島大学 生物資源産業学部 4年	『N』 道尾秀介 集英社
四国 C	田邊 貴美子	高知学園短期大学 幼児保育学科 1年	『同姓同名』 下村敦史（著） 幻冬舎
九州 A	戸澤 葉月	福岡女子短期大学 文化教養学科 2年	『二木先生』 夏木志朋（著） ポプラ社

九州 B	平山 愛実	福岡女子短期大学 文化教養学科 2年	『口外禁止』 下村敦史（著） 実業之日本社
九州 C	長崎 菜々子	鎮西学院大学 総合社会学部 3年	『ゴリラ裁判の日』 須藤古都離（著） 講談社
全国 A	梅國 元気	近畿大学 情報学部 3年	『マイメロディの「論語」』 朝日文庫編集部（著） 朝日新聞出版

表 2-6. 特別枠一覧

ブロック	特別枠選出者	大学名	ブロック決戦紹介本
長崎県選出 枠	THINN YU YU MAUNG	長崎国際大学 人間社会学部 1年	『I Am Here For Myself 自分のために自分がいる』 リンヤウンシン（著） 日本発売なし

3 本戦 開催報告

<本戦 開催概要>

開催日時：2025年11月23日（日・祝）13時50分開会

開催場所：アルカス佐世保（長崎県佐世保市三浦町 2-3）

主催：文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、活字文化推進会議

共催：一般社団法人ビブリオバトル協会、ビブリオバトル普及委員会

主管：読売新聞社

発表参加者：30名

<プログラム>

13:50	開会式
14:40～	セミファイナル 前半：セミファイナル①③⑤ 後半：セミファイナル②④⑥
17:00～	トークセッション [ゲスト] 俵 万智さん 歌人 金沢 知樹さん 脚本家・演出家・構成作家
17:30～	ファイナル・表彰式・閉会式

3-1 セミファイナル

表 3-1. セミファイナル出場者・紹介本一覧（結果）

セミファイナル①：イベントホール

ブロック	紹介本	氏名	所属
中部内陸 B	『小説』 野崎まど（著）講談社	伊藤 仁城	長野工業高等専門学校 電子制御工学科 5年
関東 B	『死にがいを求めて生きているの』 朝井リョウ（著）中央公論新社	小久保 太陽	聖学院大学 人文学部 4年
関西 E	『どうせそろそろ死ぬんだし』 香坂鮪（著）宝島社	上白木 綾菜	大阪電気通信大学 工学部 4年
四国 B	『常識のない喫茶店』 僕のマリ（著）柏書房	中井 里沙	徳島大学 生物資源産業学部 4年
関東 E	★チャンプ本 『ある行旅死亡人の物語』 武田惇志／伊藤亜衣（著） 毎日新聞出版	和田 拓磨	日本大学 文理学部 1年

セミファイナル②：イベントホール

ブロック	紹介本	氏名	所属
中国 B	『きみの友だち』 重松清（著）新潮社	稲村 文香	鳥取大学 地域学部 1年
東海 A	『陽気なギャングが地球を回す』 伊坂幸太郎（著）祥伝社	辻 奈々心	中部学院大学 看護リハビリテーション学部 1年
特別枠 長崎県選出枠	『I Am Here For Myself 自分のために自分がいる』 リンヤウンシン（著） 日本発売なし	THINN YU YU MAUNG	長崎国際大学 人間社会学部 1年
関東 A	『渚にて 人類最後の日』 ネヴィル・シュート（著） 佐藤龍雄（訳）東京創元社	角田 裕一郎	茨城大学 人文学部 2年
四国 A	★チャンプ本 『全員犯人、だけど被害者、しかも探偵』 下村敦史（著）幻冬舎	山本 瑠香	松山大学 法学部 4年

セミファイナル③：3階大会議室 A

ブロック	紹介本	氏名	所属
関西 F	『愛唄』 小林雄次（著）朝日新聞出版	岩本 真愛	四天王寺大学短期大学部 ライフデザイン学科 1年
東北 A	『先生、どうか皆の前ではめない で下さい—いい子症候群の若者たち』 金間大介（著）東洋経済新報社	加藤 凜	盛岡大学 児童教育学科 4年
関西 B	『『ドラえもん』で哲学する 物事の見方が変わるヒント』 小川仁志（著）PHP 研究所	小坂 世志朗	大阪電気通信大学 総合情報学部 4年
九州 A	★チャンプ本 『二木先生』 夏木志朋（著）ポプラ社	戸澤 葉月	福岡女子短期大学 文化教養学科 2年
中部内陸 A	『四維街一号に暮らす五人』 楊双子（著）三浦裕子（訳） 中央公論新社	三井 結	都留文科大学 文学部 3年

セミファイナル④：3階大会議室 A

ブロック	紹介本	氏名	所属
中国 C	『僕たちの好きだった革命』 鴻上尚史（著）角川学芸出版	魚谷 陽翔	福山大学 人間文化学部 1年
九州 C	『ゴリラ裁判の日』 須藤古都離（著）講談社	長崎 菜々子	鎮西学院大学 総合社会学部 3年
北陸 A	『お探し物は図書室まで』 青山美智子（著）ポプラ社	櫻井 亜仁沙	石川県立大学 生物資源環境学部 3年
関東 C	★チャンプ本 『地球星人』 村田沙耶香（著） 新潮社	兔澤 友紀	立正大学 文学部 1年
関西 D	『世界でいちばん透きとおった物 語』 杉井光（著）新潮社	尾崎 心紀	大阪経済大学 経営学部 3年

セミファイナル⑤：3階大会議室 B

ブロック	紹介本	氏名	所属
全国 A	『マイメロディの「論語」』 朝日文庫編集部（著） 朝日新聞出版	梅國 元気	近畿大学 情報学部 3年
関西 A	『医者のが息子に綴る 人生の 扉をひらく鍵』 中山祐次郎（著）あさま社	松本 志歩	四天王寺大学短期大 学部 ライフデザイン科 1年
中国 A	『カケラ』 湊かなえ（著）集英社	鈴木 亜依	島根県立大学 人間文化学部 2年
東海 B	『この会社は実在しません』 ヨシモトミネ（著）KADOKAWA	橋本 稟央	皇學館大学 文学部 1年
九州 B	★チャンプ本 『口外禁止』 下村敦史（著）実業之日本社	平山 愛実	福岡女子短期大学 文化教養学科 2年

セミファイナル⑥：3階大会議室 B

ブロック	紹介本	氏名	所属
北海道 A	『最後の医者は桜を見上げて君を 想う』 二宮敦人（著）TO ブックス	生出 圭吾	北海道情報大学 情報メディア学部 3年
関東 D	『とんこつ Q&A』 今村夏子（著）講談社	小此木 陽菜	テクノ・ホルティ園芸 専門学校 園芸1類学科 2年
四国 C	『ぼくのメジャースプーン』 辻村深月（著）講談社	田邊 貴美子	高知学園短期大学 幼児保育学科 1年
中国 D	★チャンプ本 『異常【アノマリー】』 エルヴェ・ル・テリエ（著） 加藤かおり（訳）早川書房	浜本 菜美	県立広島大学 地域創生学部 4年
関西 C	『殺人出産』 村田沙耶香（著）講談社	福島 鈴夏	大阪成蹊大学 教育学部 2年

3-2 ファイナル

表 3-2. ファイナル進出者・紹介本一覧（結果）

ブロック	紹介本	氏名	所属
関東 C	☆グランドチャンプ本 『地球星人』 村田沙耶香（著）新潮社	兔澤 友紀	立正大学 文学部 1年
中国 D	☆準グランドチャンプ本 『異常【アノマリー】』 エルヴェ・ル・テリエ（著） 加藤かおり（訳）早川書房	浜本 菜美	県立広島大学 地域創生学部 4年
関東 E	☆ゲスト特別賞 『ある行旅死亡人の物語』 武田惇志／伊藤亜衣（著） 毎日新聞出版	和田 拓磨	日本大学 文理学部 1年
九州 B	☆ピース文化祭賞 『口外禁止』 下村敦史（著）実業之日本社	平山 愛実	福岡女子短期大学 文化教養学科 2年
九州 A	『二木先生』 夏木志朋（著）ポプラ社	戸澤 葉月	福岡女子短期大学 文化教養学科 2年
四国 A	『全員犯人、だけど被害者、しかも探偵』 下村敦史（著）幻冬舎	山本 瑠香	松山大学 法学部 4年

4 「全国大学ビブリオバトル in ながさきピース文化祭 2025」本戦レポート

ビブリオバトル普及委員会 杉山和芳

今年は「ながさきピース文化祭 2025」のイベントの一環として、長崎県佐世保市にあるアルカス SASEBO にて「全国大学ビブリオバトル in ながさきピース文化祭 2025」（第 16 回全国大学ビブリオバトル）が 2025 年 11 月 23 日（日）に開催されました。アルカス SASEBO は佐世保駅からほど近いところにあるガラス張りの立派な施設です。館内では多くの中高生が勉強をしている様子が見られました。



今回は「ながさきピース文化祭 2025」のイベントということもあり、受付の奥では長崎県高等学校文化連盟図書専門部による、高校生が作った「長崎ゆかりの文学 POP」が展示されていました。また、本の販売コーナーでは出場者自筆の POP が置かれ、大会に彩りを添えていました。

開会式前のイベントでは長崎県の高中生によるイチオシ本の紹介と「変面ショー」、ビブリオバトル発案者の谷口忠大さんのビデオメッセージが披露されました。

イチオシ本紹介プレゼンでは、長崎県立諫早高等学校 1 年の江嶋和花さんが『ゴールデンタイム』（斜線堂有紀著）を、佐世保工業高等学校 2 年の島袋由奈さんが『遊園地ぐるぐるめ』（青山美智子著）を紹介してくれました。多くの観客の前での堂々とした発表に会場は大きな拍手に包まれました。プレゼン終了後、舞台にお面をつけた人が登場し、「変面ショー」が始まりました。踊りながら一瞬で変幻自在に入れ替わる変面の演技に観客からはどよめきが起こりました。その後、ビブリオバトル発案者の谷口さんによるビデオメッセージが流されました。谷口さんは、国内外で選挙が行われた 2024 年を振り返りながら、情報の多様性や、異なる視点を持つことの重要性を再認識したと語りました。



開会式の司会はカモシダせぶんさん（松竹芸能）とフリーアナウンサーの高月晶子さん、会場レポーターを務めてくれたのは柏朱華さん（鎮西学院大学）です。開会式が始まると、柏さんが観客席を回ってインタビューをしてくれました。観客からは「初めて参加しました、楽しみです」、バトラーからは「しっかり準備してきたものを発揮しようと思います」という声がありました。その後、司会者の軽妙なトークにより、全国の予選会を勝ち抜いたバトラー30名が紹介されました。

続いて、主催者代表として活字文化推進会議の新庄秀規さんよりご挨拶をいただきました。新庄さんは、九州で初めての全国大学ビブリオバトルが開催できたことに感謝するとともに、書店が減少している中、独立系書店やシェア型書店といった存在に触れつつ、「本を通して人を知る、人を通して本を知る」というビブリオバトルの意義について話してくださいました。

さらに、大石賢吾長崎県知事による「佐世保市において、九州で初めてのビブリオバトルの全国大会が開催されることを喜ばしく思っています」というメッセージが、加藤次長の代読によって紹介されました。

その後、カモシダせぶんさんよりビブリオバトルの公式ルールとレギュレーションが説明され、開会式は終了しました。

私は、前半はセミファイナル③、後半はセミファイナル⑥の会場で観戦しました。

【セミファイナル③】

セミファイナル③では、ビブリオバトル普及委員の本田美織さんが司会を担当されました。やさしくバトラーに声をかける様子が印象的です。会場には多くの観客が集まっていました。

【発表順】

1. 盛岡大学 加藤凜さん
2. 四天王寺大学 岩本真愛さん
3. 福岡女子短期大学 戸澤葉月さん
4. 都留文科大学 三井結さん
5. 大阪電気通信大学 小坂世志朗さん

ビブリオバトルのルールと注意事項の説明の後、トップバッターとなる加藤さんの発表がスタートしました。

**1. 加藤凜さん 『先生、どうか皆の前でほめないで下さいーいい子症候群の若者たち』
金間大介著（東洋経済新報社・2022年）**

会場に響き渡る元気な声でのあいさつで始まりました。「日本人は目立つことが怖いから、自己紹介が同じような内容になってしまったり、質問タイムが苦手だったりするし、実はビブリオバトルも苦手なのではないかと思う。ですが、この本を読むことで目立つことが怖いという思いを克服できるのではないのでしょうか」と語りました。元気な発表に会場は大きな笑いに包まれていました。

2. 岩本真愛さん 『愛唄一約束のナクヒトー』小林雄次著（朝日新聞出版・2018年）

「GreeeeNの手紙形式で書かれている歌を元にしたオリジナルストーリーで、人生について考えさせられる本です」。余命宣告された登場人物が前を向いて、やり残したことをやろう、光の差す方に進もうとする姿から、「命のはかなさ、愛の強さ、だれかを本気で信じる」ということを感じたそうです。「改めて元の曲を聞くと歌詞の一つひとつが心に響いてきます」と語ってくれました。

3. 戸澤葉月さん 『二木先生』夏木志朋著（ポプラ社・2022年）

「気が小さいので」と、会場の観客に「せーの」と声を掛けてもらってから発表が始まりました。この本は多数派と少数派について書かれた作品です。「今は多様性を認めましようと言われますが、どこまでマイノリティを尊重すべきか、自分がどこに立っているのか、誰があなたのことを認めてくれるのか、あなたたちがどう生きているのか」を伝えたいと語りました。質疑では「自分はこの本を読んで実はマイノリティに属することを知った、今までと視点が変わった」と語りました。

4. 三井結さん 『四維街一号に暮らす五人』楊双子著、三浦裕子訳（中央公論新社・2025年）

「初めて台湾文学に触れる人におすすめしたい本」です。古い日本建築に住む5人の女性たちの寂しさ、痛みを描いた作品で、舞台となっている建物は実際に台湾にあるそうです。日本に占領された台湾の歴史と現代の台湾女性の孤独とが交錯するところが読みどころで、100年前の料理のレシピをきっかけに登場人物たちの人生が変わっていきます。「私たちは知っておかなくてはいけない事実があり、それを日本人として受け入れていく必要がある」ことを感じたと言いました。

5. 小坂世志朗さん 『『ドラえもん』で哲学する一物事の見方が変わるヒント』小川仁志著（PHP研究所・2024年）

元気なあいさつから発表が始まりました。小坂さんは「ドラえもんは実は哲学書なのです。哲学は答えのない問題を扱いますが、ドラえもんの内容と哲学には似ているところがあり、「哲学を始める最初の一步となる本」だと思います。今の世の中はドラえもんの世界に近づいていて、道具をどう使って、どのように過ごしていくべきかを考えることが必要なのではないかと。哲学って自由でいいんだと思った」と熱く話してくれました。

この会場は発表の中でバトラーが観客に声をかけることもあり、会場全体にあたたかな雰囲気気が漂っていたのが印象的でした。観客からの質問も活発に出て、バトラーの回答に会場が笑いに包まれることもありました。

セミファイナル③では、戸澤葉月さんが紹介してくれた『二木先生』がチャンプ本に選ばれました。戸澤さんは「観客のみなさんが応援してくれたおかげで勝つことができました。決勝でも同じように応援をお願いします」とチャンプ本に選ばれた感想を話してくれました。



【セミファイナル⑥】

セミファイナル⑥では、ビブリオバトル普及委員会九州地区代表でもある佐藤慧さんが司会を務めました。佐藤さんはバトラー紹介の際にバトラーにひと言話してもらっていて、それでバトラーの緊張が少し和らいだように感じました。こちらの会場も立ち見が出るほどの観客が集まっていました。

【発表順】

1. 大阪成蹊大学 福島鈴夏さん
2. テクノ・ホルティ園芸専門学校 小此木陽菜さん
3. 県立広島大学 浜本菜美さん
4. 高知学園短期大学 田邊貴美子さん
5. 北海道情報大学 生出圭吾さん

1. 福島鈴夏さん 『殺人出産』村田沙耶香著（講談社・2016年）

価値観が異なると感じることも変わるが、全ての人に共通する価値観の一つに人を殺すことは悪いということがあると思います。ですが、この本の世界ではある条件を満たせば人を殺すことができちゃうのです。この本は怖い、異常でしかないと感じますが、読んでいくうちに、本当にこんな世界になってしまうのではと思えてきて「完全に脳を乗っ取られてしまった」そうです。「これまでの価値観が間違いだったのではと思わせる本です」と語りました。

2. 小此木陽菜さん 『とんこつ Q&A』 今村夏子著（講談社・2025年）

2024年のグランドチャンプ本受賞者が戻ってきました。この本には4つの短編があり、どの作品の登場人物たちも身近な人たちばかりです。ですが、物語はどんどん不気味な方向に進んでいきます。この作品を読んでいると身近な人の姿が浮かんできて、身近な周りの人が同じことをしていないと言い切れないと感じたそうです。「馬鹿らしくてこっけいな物語に映るが、特別な読後感がある本です」と軽妙な語り口で発表をしてくれました。

3. 浜本菜美さん 『異常【アノマリー】』 エルヴェ・ル・テリエ著（早川書房・2024年）

海外文学を専攻していて、旅先の書店でこの本を見つけました。第1部は同じ飛行機に乗り合わせた人たちによる群像劇になっていて、登場人物が変わると文体も変わるのが特徴です。第2部に入ると「異常」事態が発生します。タイトルにもある「異常」とはその飛行機で起きるトラブルとそこで出会う人物のことです。ですが、読者の想像を超える異常事態が起こる奇想天外な物語です。「自分自身と向き合いたくなってくるのがこの本の特徴だと思います」と語ってくれました。

4. 田邊貴美子さん 『ぼくのメジャースプーン』 辻村深月著（講談社・2009年）

小学校6年のときに出会った、初めて自分のお小遣いで買った本です。これまでに何回も読んでいますが、そのときによって受ける感情が変わります。今はタイパよく正解を求めようとする傾向がありますが、じっくりと正解を考えることを続けてほしいと思います。この本を読んで正義について考えてほしいし、「誰かと向き合わなければならないときに助けてくれる本」なのです。「自分は正義感が強いことで痛い思いをすることもあったので、相手にも考えがあることを忘れずにしようと思わされた一冊です」と語りました。

5. 生出圭吾さん 『最後の医者は桜を見上げて君を想う』 二宮敦人著（TO ブックス・2016年）

延命治療に対する考えが対照的な二人の医者が主人公です。一人は死神と呼ばれ、死を受け入れる医者、もう一人はなるべく生きる望みをつなごうとする医者です。この作品を読むことで、「生について大事なものを感じさせてくれるとともに、生きるための、死ぬための選択が大事なのではないか」と思いました。人間らしく生きるとはどういうことなのかを考えさせられる作品で、「あまりにこの作品が好きで7回も読みました」と熱く語ってくれました。

セミファイナル⑥は、浜本菜美さんが紹介した『異常【アノマリー】』がチャンプ本に選ばれました。浜本さんは「今、大学4年生で来年には社会人になります。最後に機会をもらったことをありがたく思っています。決勝大会でもがんばりますので応援をお願いします」と意気込みを話してくれました。

【トークセッション】

セミファイナル終了後、カモシダせぶんさんと高月晶子さんの司会進行によるトークセッションが行われました。今回のトークセッションのゲストは歌人の俵万智さんと「ながさきピース文化祭 2025」総合演出家で脚本家の金沢知樹さんです。

セミファイナルをご覧になったカモシダせぶんさんは、「なんとタイトルに「死」が入った本が多く紹介された「死のグループ」の発表を楽しませてもらいました」と感想を話されました。



その後、ゲストのご両名が登壇しました。俵さんからは「俵町という地名が会場の近所にあることを聞いて、すごいご縁だなと思いました」、金沢さんからは出身地である「長与から来ました」という自己紹介が行われ、トークセッションが始まりました。

トークセッションは司会からの質問にお二人が答える形で進行しました。

一つ目の質問は「どのような道のお二人が言葉のプロフェッショナルになったのですか？」です。俵さんからは「高2のときに失恋して早稲田大学の推薦を受けました。偶然に入学した早稲田大学で短歌の先生に出会い、短歌を作り始めました。あのときの失恋があったから良かった」と話してくださいました。一方、金沢さんは「小学生のころから作文が得意でした。お笑い芸人になるために長崎を離れたが売れなかったので、放送作家になりました。ライターの仕事をしてみたら、実は文章の才能があることに気づきました。脚本家になりたいと思ったことはないです」と話されました。

二つ目の質問は「教育関係者に伝えたいこと」です。俵さんは「学校の先生の影響は大きい。そんな先生方を通して色々なことに目覚めることができた。生身の人間に触れることができるので、大学を卒業して先生になった」と話してくださいました。金沢さんは大好きだった先生、大嫌いな先生、どちらの先生に言われた言葉も覚えているそうです。「そんな先生の姿は物語のキャラクターとして使える」と語ってくださいました。

三つ目の質問は「読書の原点」についてです。俵さんの読書の原点は、母に絵本をたくさん読み聞かせしてもらったことだそうです。「絵本を読むことで、言葉を通して頭の中で想像して動かす経験が大切なのではないかな。短くてリズムのある言葉が大切だと思う」と話してくださいました。

最後は「最近読んで、皆さんにおすすめしたい一冊」の紹介です。俵さんは、金沢知樹さんの『ぼくの姉ちゃんとセックスしてください』（主婦の友社）と鈴木俊貴さんの『僕には鳥の言葉がわかる』（小学館）を紹介してくださいました。金沢さんは俵万智さんの『サラダ記念日』（河出書房新社）をおすすめいただき、「たった一文で世界観が変わる。情景まで見えるすごい言葉のチョイスがカッコ良すぎる」と語ってくださいました。

トークセッションの途中には、金沢さんによる俵さんの短歌の朗読があったり、俵さんの短歌や言葉に対する想いなどが語られたりと、興味深い話が次々に展開されていき、トークセッションはあっという間に終わってしまいました。

【ファイナル】

トークセッション終了後、大ホールにはセミファイナルを勝ち抜いた 6 名の出場者が登壇しました。発表順は以下のとおりに決まりました。

1. 日本大学 和田拓磨さん (セミファイナル①チャンプ本)
2. 福岡女子短期大学 戸澤葉月さん (セミファイナル③チャンプ本)
3. 松山大学 山本瑠香さん (セミファイナル②チャンプ本)
4. 立正大学 兎澤有紀さん (セミファイナル④チャンプ本)
5. 福岡女子短期大学 平山愛実さん (セミファイナル⑤チャンプ本)
6. 県立広島大学 浜本菜美さん (セミファイナル⑥チャンプ本)

ファイナルでは質疑応答の時間がセミファイナルよりも 1 分長い 3 分間となること、バトラーを盛り上げてくれた質問には活字文化推進会議から「グッド質問賞」が提供されることが司会から説明されました。

その後、出場者たちはトップバッターを務める和田さんを残して降壇し、カモシダせぶんさんによる紹介を皮切りにしてファイナルがスタートしました。

1. 和田拓磨さん 『ある行旅死亡人の物語—現金 3400 万円を残して孤独死した女性はいつたい誰なのか』 武田惇志・伊藤亜衣著 (毎日新聞出版・2022 年)

ファイナル最初のバトラーですが、落ち着いて発表する姿が印象的でした。本のタイトルにある「行路死亡人」とは身元が分からない遺体のことを指す言葉だそうです。ある日、75 歳の女性が家の前で死んでいたが、身元を明らかにするものがほとんど残されておらず、その死は謎ばかりでした。主人公の二人が数少ない情報をもとにその女性の身元を明らかにしていくというお話で、あまりに濃い内容に一気に読んでしまったそうです。実は、この作品はミステリー小説ではなく、2020 年に実際に起きた話だと最後に明かしてくれました。質疑では、「実話と知った上で読んだのか？」という質問に、「実話だと知った上で読んだが、あまりに小説のような内容だったので、ミステリー小説を紹介するような構成で発表を作った」という回答がありました。

2. 戸澤葉月さん 『二木先生』 夏木志朋著 (ポプラ社・2022 年)

戸澤さんはここでも観客の皆さまに「せーの」と声を掛けてもらいながら紹介をスタートしました。「この作品で多様性について考えてほしい。多様性を認めるとなんとなく言っているけど、どこまでだったらその少数派を受け入れていいのか。面倒くさいから理解しようとしているのではないか。そんな多様性とはどういうことかを考えさせられた本です」と紹介してくれました。質疑応答では、「本を読む前と後で多様性に関する考え方が変わったか」という質

間に、「自分はマジョリティ側だと思っていたが、マイノリティの主人公がしていることと同じようなことをしていることに気づいた。線引きをしているのが周りの人や自分であることに気づいた」と答えてくれました。

3. 山本瑠香さん 『全員犯人、だけど被害者、しかも探偵』下村敦史著（幻冬舎・2024年）

「この本のおすすめポイントは3つ、タイトル、内容、見た目、つまり全部がおすすめです」という言葉で紹介が始まりました。登場人物全員が犯人で被害者で探偵という設定がこの本の最大の魅力であり、最大の謎だそうです。命がけの自白合戦が始まっていく絶叫したくなるような内容で、「表紙がキラキラしているのに目がいきますが、表紙がこの本のすべてです。読み終わった後にこの表紙を見るとスッキリすると同時に新たな謎が見つかる」と紹介してくれました。質疑応答では、「発表者はどんな絶叫をしたのか」という質問に、「タイトルにやられたと思った。読者を落ち着かせてから裏切られたことに絶叫した」と語りました。

4. 兎澤有紀さん 『地球星人』村田沙耶香著（新潮社・2018年）

本屋の空気が大好きという兎澤さん。お世話になった人たちのためにがんばりますと紹介されていました。兎澤さんは「この本を読んだらもう他の本には満足できない。地球外レベルの刺激があって他の本がかすんでいった」と語りました。この本を読むことで読書観や価値観が変わってしまったそうです。内容がえげつなくて、かつて不登校になった原因の1割はこの本のせいで、「吐き気がするほど苦しいですが、地球外レベルの刺激を味わってほしい」と言って紹介を終えました。質疑応答では「グロテスクな内容ですが、どういう人にすすめるか？」という質問に対して、「この本を読む前と後で見方が180度変わります。人生めちゃくちゃになってもらいたい」と答えてくれました。

5. 平山愛実さん 『口外禁止』下村敦史著（実業之日本社・2025年）

「Wi-Fi とかけまして、恋人の心ととく、そのところは切れるとどちらも不安になる」という謎掛けから発表が始まりました。もしAIが予知能力を持つようになったら、人はAIを信じるようになるのでしょうか。「あなたの人生をプロデュースします」というタイトルの迷惑メールが届き、実際にAIに人生をプロデュースをしてもらうことになることから物語が始まります。平山さんはこの物語を通して「正しさについて考えさせられた」そうです。質疑応答では観客からの「AIと自分がどう向きあっていこうかと思ったか」という質問に対し、平山さんは「AIは便利だけど凶器にもなるのが恐怖、依存しすぎないことが大切だと学んだ」と答えてくれました。

6. 浜本菜美さん 『異常【アノマリー】』エルヴェ・ル・テリエ著（早川書房・2024年）

海外文学を専攻しているので書店でも海外文学の棚をつい見えてしまい、そこで出会ったのがこの本だそうです。フランスからアメリカに向かう飛行機に搭乗している10人が主人公で、人物によって表現が変わっていくのも読みどころです。第2部では登場人物たちがとある異常事態に遭遇します。「想像を越える奇想天外さがこの本の面白さ。これを読み終わったあと、人生について考えさせられた。異常事態に直面した時に自分ならどうするかを考えてもらいたい」と紹介してくれました。質疑応答では「その「異常」を私たちが体験する可能性があるの

か？」という質問に、浜本さんは「起こりそうもないようなことだけど、この本を読んだあとには起こることもあるのではと思えてくる」と答えてくれました。

全員の発表が終わった後、ホールにいる観客が軍配を上げる形で投票が行われました。投票の間、会場を見渡していましたが、どの作品にも多くの軍配が上がっていて、すぐには優劣が分からないくらいの大接戦でした。

【表彰式・閉会式】

表彰式と閉会式が始まりました。

今回は長崎県の加藤次長が「ながさきピース文化祭特別賞」を、金沢知樹さんが「ゲスト特別賞」、俵万智さんが「準グランドチャンプ本」、ビブリオバトル普及委員会代表の須藤秀紹さんが「グランドチャンプ本」のプレゼンターを務めました。

各賞を受賞された方々と紹介した本は以下のとおりです。

〈ながさきピース文化祭特別賞〉	平山愛実さん『口外禁止』
〈ゲスト特別賞〉	和田拓磨さん『ある行旅死亡人の物語—現金 3400 万円を残して孤独死した女性はいったい誰なのか』
〈準グランドチャンプ本〉	浜本菜美さん『異常【アノマリー】』
〈グランドチャンプ本〉	兎澤有紀さん『地球星人』

今回は活字文化推進会議からの記念品と副賞のほかに、長崎県からも長崎牛や佐世保の銘菓といった豪華な副賞が提供されていました。



グランドチャンプ本を獲得した兎澤さんは、「高校2年生からビブリオバトルの大会に出場して、そのときも村田さんの本を紹介しましたが、そのときは作品の良さを伝えられなかった。今回、素晴らしい栄誉をいただけたことと、ビブリオバトルの世界に誘ってくれた高校の先生方に感謝します」というコメントをしてくれました。

ビブリオバトル普及委員会代表の須藤さんからは「ビブリオバトル、楽しかったですね。今回、首都圏・近畿圏以外での初開催となり運営の不安もあったが、会場の盛り上がりがすごかったです。ファイナルはどなたが勝ってもおかしくないくらいの激戦でした。セミファイナルも白熱した戦いでした。大会を盛り上げてくれた長崎の皆さん、ありがとうございました。素晴らしい会場をご用意いただいた関係者の皆さん、スタッフの皆さん、ありがとうございました。これを機会にビブリオバトルを楽しんでもらえればと思います。ぜひ、来年も全国大学ビブリオバトルに参加してください」というコメントがありました。

そして、ゲストの金沢さんからは「簡単に受賞作を選ぶことができないくらい、どれも素晴らしい発表でした。ビブリオバトルは青春の火花が散るような大会で、これは映画になると思いました。めっちゃ面白かったし来てよかった。これからも本をずっと好きでいてください」と語っていただきました。

同じくゲストの俵さんからは「本当に聴きごたえのあるビブリオバトルでした。話術と内容の素晴らしさがあって、どの作品を選ぶか悩みました。自分が本を選ぶときに最後のひと押しとなるのは友だちの口コミのことが多い。本を手にする第一歩になるのがビブリオバトルなのではないでしょうか」と話していただきました。

表彰式では、これまでの全国大学ビブリオバトルを振り返る映像とともに、次回の全国大学ビブリオバトルの会場が発表になりました。2026年全国大学ビブリオバトルの舞台は四国の高知県になります。

全国大学ビブリオバトルの終了後、ながさきピース文化祭特別賞を受賞した平山さん、ゲスト特別賞を受賞した和田さん、準グランドチャンプ本を獲得した浜本さん、グランドチャンプ本を獲得した兎澤さんにインタビューを行いました。

ながさきピース文化祭特別賞を受賞した平山さんは、「2回生で今年が最後のチャンスだったので、このような形で決勝まで出ることができてうれしかったです。決勝戦では、自分が好きな本について多くの観客の前で話すことができてよかったです」と喜びを語りました。

ゲスト特別賞を受賞した和田さんは、「ファイナルまで残ることができ、自分の好きな本を紹介できたことは感無量です。発表を終えた達成感でいっぱいです」と喜びを語りました。

準グランドチャンプ本を獲得した浜本さんは、「まずはお世話になった家族、そして先生、ゼミの仲間たちに感謝を伝えたいです。今年は、落ち着いて自分が思う理想の発表をできたと思っています、このような結果を出すことができたのがとてもうれしいです」と気持ちを述べました。

グランドチャンプ本を獲得した兎澤さんは、「この本を読まないのはもったいないという思いで紹介しました。グランドチャンプ本に選ばれてとてもうれしいです。ビブリオバトルは場数を踏んでいるため、決勝のステージに上がる瞬間もあまり緊張せず、平常心で臨むことができました。」と笑顔で今の心境を語りました。また、「誰にこの喜びを伝えたいですか？」とい

う質問には、「ビブリオバトルに出会う機会をくれた高校の先生方に感謝をしています。グランドチャンプ本を獲得できたことを先生方に伝えたいです」と感謝の気持ちを述べました。



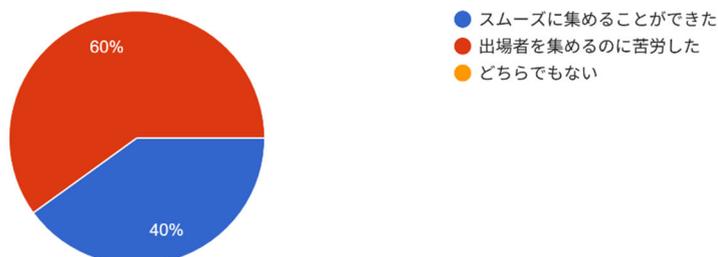
最後になりますが、司会を務めてくださったカモシダせぶんさん、高月さん、学生レポーターの柏さん、トークショーのゲストの俵さん、金沢さん、大会運営を支援してくれた学生スタッフの皆さまに感謝申し上げます。また、活字文化推進会議、ビブリオバトル協会、ビブリオバトル普及委員会の各スタッフの皆さま、全国各地の予選会を勝ち抜き、本戦に出場された30名の学生の皆さま、当日会場に足を運んでくださり、共に場を盛り上げて投票にもご参加いただいた観客の皆さま、そして各地区の予選会を運営してくださった全ての皆さま、各地区の予選会に出場してくれた皆さま、オンラインで視聴してくれた全国のビブリオバトル・ファンの皆さまにも、心より感謝申し上げます。

来年の全国大学ビブリオバトルは高知県で開催されます。また皆さまにお会いできることを心から楽しみにしております。

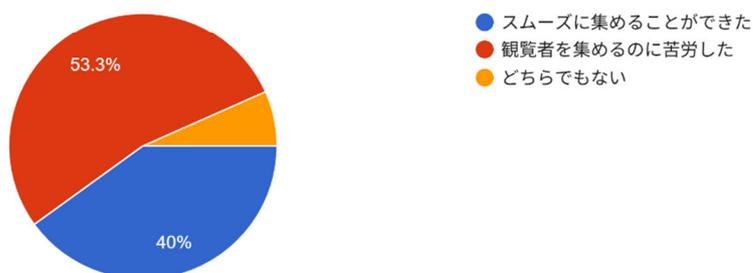
5 その他

5-1 予選会主催団体アンケート

出場者（バトラー）の募集について
15件の回答

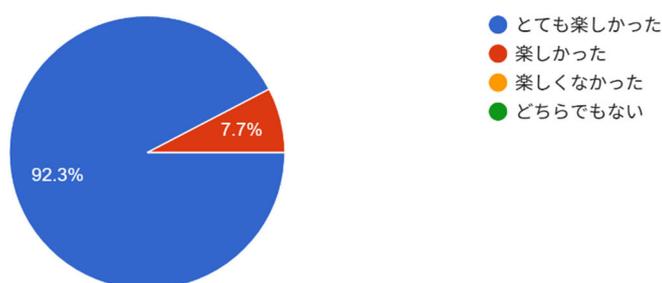


観覧者の募集について
15件の回答



5-2 本戦出場者アンケート

本戦に出場されてみていかがでしたか？
13件の回答



5-3 ブロック予選・ブロック決戦主催団体 広報ウェブサイト

ブロック予選・ブロック決戦主催団体の広報ウェブサイト、チラシ等は全国大学ビブリオバトル2025公式ウェブサイト記録ページ(<https://zenkoku.bibliobattle.jp/records2025>)にて公開している。

6 記録

6-1 ちらし・ポスター素材

全国大学 ビブリオバトル in ながさきピース文化祭 2025

読みたい本ナンバーワンを競う
全国大学ビブリオバトルが九州初上陸。
『サンクチュアリー―聖域―』などヒット作を連発する脚本家の金沢知樹さん
『サラダ記念日』でデビュー以来、現代短歌の第一線を走り続ける
歌人の俵万智さんをゲストに迎えます。

入場無料
定員 **500人**
事前申込制
申し込み方法は裏面参照

俵 万智さん
MACHI TAWARA
1962年大阪府生まれ。デビュー作の歌集『サラダ記念日』は260万部を超え、歌集としては異例の大ベストセラー。最新歌集は『アボカドの種』。最新刊の新書『生きる言葉』では言葉の奥深さ、難しさを考察している。1996年から読売歌壇選者。

金沢 知樹さん
TOMOKI KANAZAWA
1974年長崎県生まれ。脚本家、演出家、構成作家。2022年長与町が舞台の『サバカン SABAKAN』で映画初監督。脚本作品に『半沢直樹』『闇バイト家族』など。今年のNHKドラマ10『東京サラダボウル』、TBS系列『クジャクのダンス、誰が見た?』の脚本を担当。

2025年
11月23日(日) 14:00
アルカスSASEBO
（開場13:30）
ニコニコ動画で
ライブ配信

主催：文化庁
厚生労働省
長崎県
第40回国民文化祭
第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会
活字文化推進会議
共催：ビブリオバトル普及委員会
一般社団法人ビブリオバトル協会
協力：松竹芸能
主管：読売新聞社

長崎県佐世保市三浦町2-3 JR佐世保駅徒歩3分
イラスト：Kotaro Chiba 「佐世保のシンボル、カトリック三浦町教会を描きました」

一般社団法人ビブリオバトル協会のご案内

ビブリオバトルは「人を通して本を知る、本を通して人を知る」をキャッチフレーズとしたゲーム感覚を取り入れた新しいスタイルの書評合戦です。全国の小中学校、高等学校、大学、一般企業の研修・勉強会、図書館、書店、サークル、カフェ、家族の団欒など様々な場所で開催されており、その楽しさが広く共有されています。ビブリオバトル普及委員会は、「ビブリオバトルの普及を通して、世の中のコミュニケーションや知識共有、人々のつながりを活性化させること」を目的とする団体です。ビブリオバトル普及委員会は法人格を持たない有志の集まりですので、それを裏から支え、運営業務を受け持つ法人が一般社団法人ビブリオバトル協会となります。

連絡先

メールアドレス：info@bibliobattle.jp

公式ウェブサイト：<https://association.bibliobattle.jp/home>

役員

(理事・代表理事)	谷口 忠大
(理事・副代表理事)	須藤 秀紹
(理事)	小林 秀高
(理事)	坂本 牧葉
(監事)	大川 真司

サポーター会員募集

私たちは、「ビブリオバトルの普及を通して、世の中のコミュニケーションや知識共有、人々のつながりを活性化させること」を目的とし活動しています。この私たちの活動の趣旨にご賛同くださり、サポーターとしてご支援いただける団体・企業の皆さまを募集しています。

サポーター会員募集のご案内：<https://www.bibliobattle.jp/supporter>

2025 年度サポーター会員様（敬省略）

- ・株式会社ブックエース
- ・国立大学法人筑波大学 情報学群知識情報・図書館学類
- ・株式会社図書館流通センター
- ・まちなかビブリオ倶楽部
- ・子どもの未来社
- ・デーリー東北新聞社
- ・あんとれボックス
- ・アルペ記述読解教室

ビブリオバトル普及委員会のご案内

ビブリオバトル普及委員会は、知的書評合戦ビブリオバトルをより広く普及させることを目的として活動する任意団体です。主催や参加、見学、取材のご相談などは、お気軽に下記までご一報ください。

連絡先

メールアドレス：info@bibliobattle.jp

公式ウェブサイト：<http://www.bibliobattle.jp/>

役員

(理事・代表)	須藤 秀紹 (近畿大学情報学部)
(理事・副代表)	小林 秀高 (拓殖大学北海道短期大学農学ビジネス学科)
(理事・副代表)	坂本 牧葉 (北海道情報大学情報メディア学部情報メディア学科)
(理事)	飯島 玲生 (名古屋大学)
(理事)	益井 博史 (ビブリオバトル普及委員会普及委員)
(理事)	佐藤 慧 (ビブリオバトル普及委員会普及委員)
(理事)	榎村 真由 (ビブリオバトル普及委員会普及委員)
(理事)	高田 舞子 (ビブリオバトル普及委員会普及委員)
(理事)	宮本 皐 (ビブリオバトル普及委員会普及委員)
(理事)	今坂 朋彦 (ビブリオバトル普及委員会普及委員)
(理事)	谷 芳明 (ビブリオバトル普及委員会普及委員)
(監査役)	大川 真司 (大川公認会計士・税理士事務所)

地区代表

地区名	地区代表者、副代表者名
北海道	小林 秀高 (副) 高田 舞子
東北	貝森 義仁 (副) 加藤 啓太
関東	瀬部 貴行
北陸	藤野 秀則 (副) 本吉 達郎、(副) 鎌田 康裕
中部内陸	荒戸 寛樹
東海	飯島 玲生 (副) 岡野 裕行
関西	益井 博史 (副) 水野 五郎
中国	大西 美優 (副) 益井 博史、水野 五郎
四国	西村 浩子 (副) 佐々木 奈三江
九州	佐藤 慧 (副) 林 鉄郎

会員：546名 (2025年12月31日現在)

新規会員の募集について

ビブリオバトル普及委員会は、ビブリオバトルの普及を通して、世の中のコミュニケーションや知識共有、人々のつながりを活性化させることを目的としボランティアで活動しています。入会を希望される方は、入会申請フォームをご確認の上、お申込みください。

入会申請フォーム：<https://www.bibliobattle.jp/aboutus/admission>

関連書籍の紹介

『ビブリオバトル ガイドブック ルール改訂版』

編著：ビブリオバトル普及委員会
 出版社：子どもの未来社
 出版年月：2023年9月



【内容】

様々な場所やオンライン・SNSでも楽しめる「Bibliobattle of the Year」を受賞した個人や団体のユニークな取り組みを紹介。ルール改訂を踏まえてビブリオバトルの魅力を見つめ直す1冊。

2009年に紹介されて14年が経ち、今では多くの人たちが本のコミュニケーションゲームとしてビブリオバトルを楽しんでいます。

さらに様々な場面で、またビブリオバトルをもっといろいろな活用したいと考えている方にお勧めのガイドブックができました。個性的で楽しくてワクワクする事例が満載です。SNSでの開催例も載っていますよ。

(子どもの未来社サイトより)

『コミュニケーション場のメカニズムデザイン』

著者：
 谷口 忠大、石川 竜一郎（編著）
 中川 智皓、蓮行、井之上 直也、末長 英里子、
 益井 博史（執筆）
 出版社：慶應義塾大学出版会
 出版年月：2021年10月



【内容】

▼ビブリオバトル、ディベート、演劇ワークショップ、発話権取引の実践から「コミュニケーション場」のメカニズムを解明する。

▼ビジネスの「会議」、教育の場の「議論」などの「質」と「量」を改善する！

▼「コミュニケーション」についての新たな総合的アプローチの提案。

一部の人だけが話す会議、かみ合わない議論…。

誰もが経験する、コミュニケーションの「失敗」に対し、「場」の「メカニズム」に注目し、実践と理論の両方から検討する。ビブリオバトル、ディベート、演劇ワークショップ、発話権取引についての分析と、メカニズムデザイン理論、自然言語処理の知見を加わる。

(慶應義塾大学出版会サイトより)